

かしわばらえきしゅうへん ち く し が け ん ま い ば ら し
柏原駅周辺地区（滋賀県米原市）
（都市再生整備計画事業）

1. 地区概要

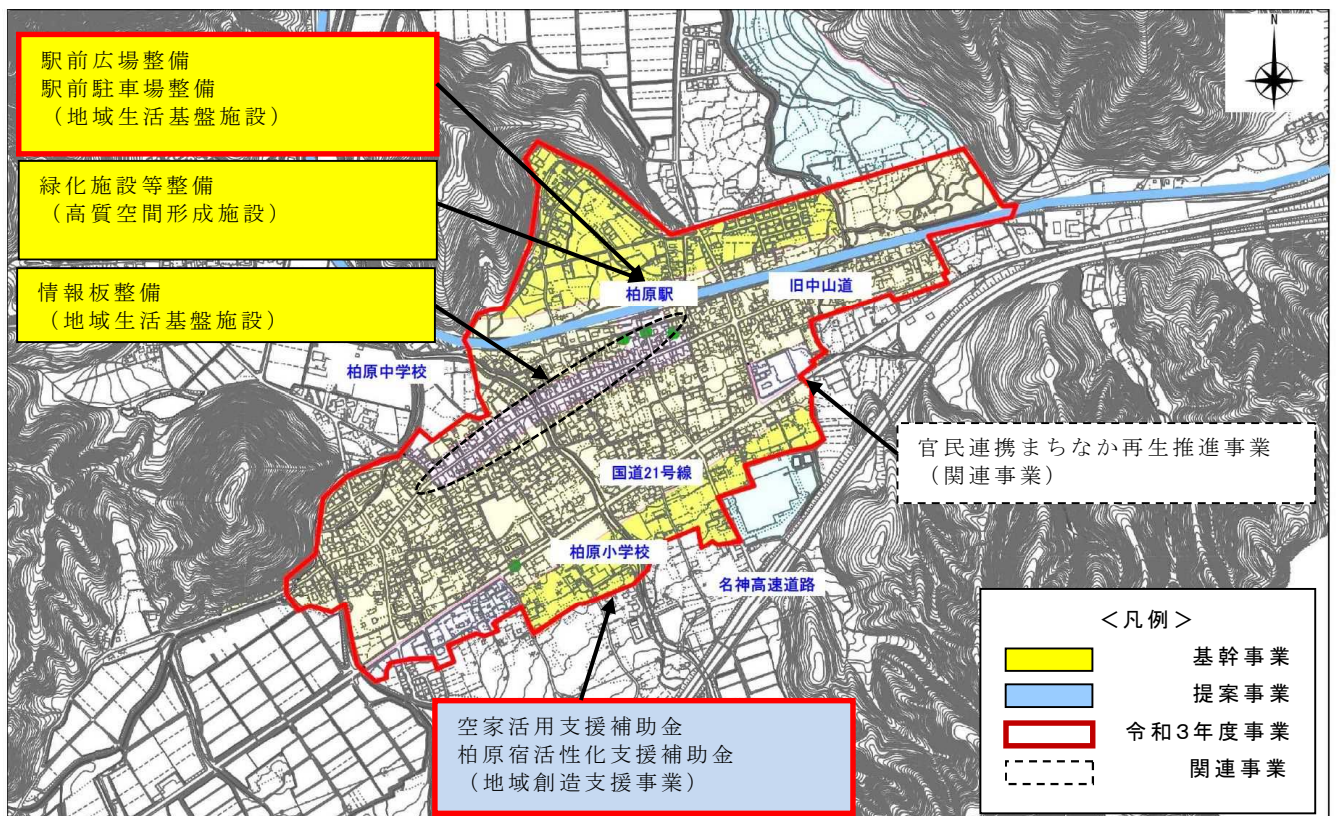
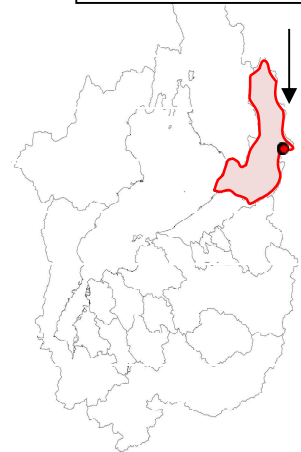
本地区は、旧中山道の宿場町であり、歴史的な街並みや建築物が数多く残されている。しかし、人口減少や空家の増加により、歴史的な街並みが荒廃しはじめている。また、駅前には時間貸し駐車場がなく、旅行、通勤、通学等の出発駅として利用するには、不便な状況がある。

このことから、駅前広場および駅前駐車場整備を行うことで、柏原駅の利便性を高るとともに、地域資源および空家を活用した魅力の向上と、受入環境の整備を行うことで、「伊吹山の麓で息づく暮らしの街道による交流文化に出会えるまち」の創造を進める。

2. 計画内容

所在地：滋賀県米原市
事業主体：米原市
面積：78.4 ha
交付期間：令和3年度～令和5年度
事業費：全体110.4百万円
（国費：44.1百万円）
事業内容：駅前広場整備、駅前駐車場整備
緑化施設等整備、情報板整備
空家活用支援補助金、柏原駅活性化支援補助金

当該地区



社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和103年02月 15日

計画の名称	柏原駅周辺地域の活性化																				
計画の期間	令和0 3 年度 ～ 令和0 5 年度 (3年間)											重点配分対象の該当		○							
交付対象	米原市																				
計画の目標	大目標：伊吹山の麓で息づく暮らしと街道による交流文化に出会えるまちの創造 目標①：地域資源および空家を活用した魅力の向上 目標②：駅の利便性向上による駅利用者の維持 目標③：受入環境整備による持続可能なまちづくりの推進																				
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		111		A	111		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0		%

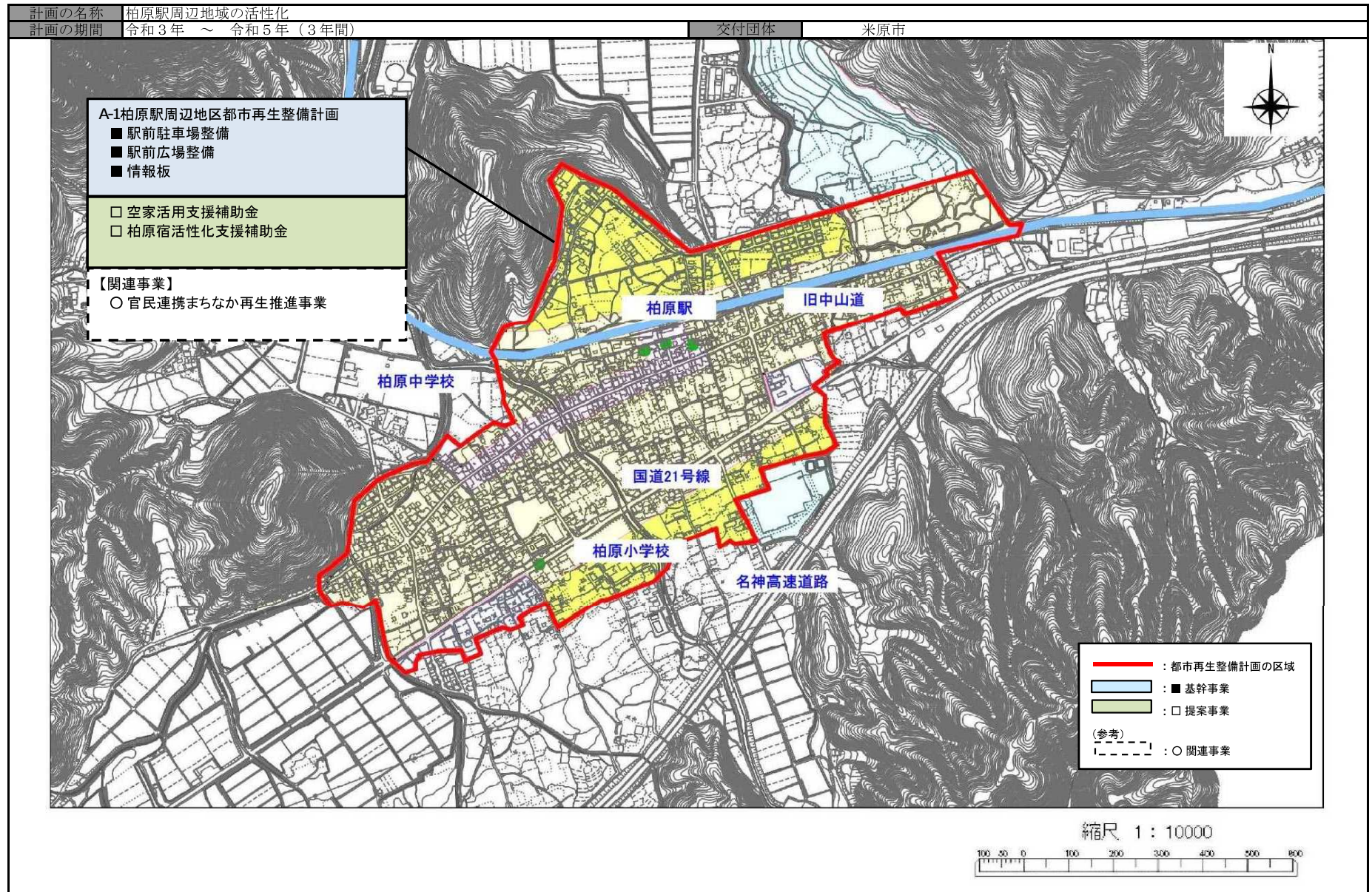
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 2		R5
1	米原市空家バンクを通じて、当地区に移住された世帯数を、13世帯（R1末）から21世帯（R5末）に増加する。 米原市空家バンクを通じて、当地区に移住された世帯数	13世帯	世帯	21世帯
2	柏原駅の乗車人数を、274人/日（H30）で維持する。 柏原駅の乗車人数	274人/日	人/日	274人/日
3	当地区におけるエリアプラットフォームへの参加団体数を、7団体（R1末）から10団体（R5末）に増加する。 当地区におけるエリアプラットフォームへの参加団体数	7団体	団体	10団体

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	米原市	直接	米原市	－	－	柏原駅周辺地区都市再生 整備計画	地域生活基盤施設等 78.4ha	米原市	■	■	■			111		－
											小計						111		
											合計						111		

社会資本総合整備計画

参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 柏原駅周辺地域の活性化

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]

都市再生整備計画

かしわばらえきしゅうへんちく
柏原駅周辺地区

しがけんまいばらし
滋賀県 米原市

令和3年2月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	滋賀県	市町村名	米原市	地区名	柏原駅周辺地区	面積	78.4	ha
計画期間	令和3年度～令和5年度	交付期間	令和3年度～令和5年度					

目標
大目標:伊吹山の麓で息づく暮らしと街道による交流文化に出会えるまちの創造 目標①:地域資源および空家を活用した魅力の向上 目標②:駅の利便性向上による駅利用者の維持 目標③:受入環境整備による持続可能なまちづくりの推進

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・当地区は、滋賀県唯一の新幹線停車駅「米原駅」から時間距離15分の距離に位置し、近畿圏、中部圏、北陸圏を結ぶ広域交通の要衝となっている。 ・当地区は、中山道の宿場町であったため、歴史的な街並みや建築物が数多く残されている。 ・平成16年度に「街なみ環境整備事業」により中山道の基盤整備、街道沿いの家屋の壁面改良等に取り組み、歴史ある街なみを残す事業を実施している。 ・平成26年度から開設している空家バンクでは、当地区を含む市内全域で空家所有者と移住希望者のマッチングを行っている。 ・平成28年度改定の米原市都市計画マスタープランでは、生活交流拠点および歴史・観光拠点に位置付けられている。 ・令和元年度に地域住民および民間団体により柏原宿活性化検討委員会が発足し、柏原宿活性化プランを策定されるなど、地域活性化や移住定住促進に向けた取組が実施されている。
課題 ・人口減少による空家の増加により、歴史的な街並みが荒廃しはじめている。これにより、観光客が徐々に減少しはじめており、地域経済の衰退や、更なる人口減少を招いている。 ・柏原駅前には時間貸し駐車場がなく、旅行、通勤、通学等の出発駅として利用するには不便な状況がある。 ・まちづくりの舵取り役が存在しない。多様な人材が集積されるエリアプラットフォームを形成し、持続可能なまちづくりを進める必要がある。
将来ビジョン(中長期) ・米原市都市計画マスタープランの柏原地区が含まれる東部地域の地域別構想では、まちづくりの将来像を「自然に恵まれ、歴史文化と生活空間が調和するまち」としている。 また、目標として「自然、歴史、伝統を生かした交流のまちづくり」「安心して暮らせる住み心地のよいまちづくり」の2つを挙げている。土地利用構想については、以下のとおり示されている。 【土地利用構想】 ・日常生活サービスや観光を目的とした商業の導入を図り、中山道の宿場町として歴史的街並みの保存、再生による歴史・観光拠点づくりを進めるとともに、駅周辺機能の向上を図る。 ・歴史的街並みや歴史的価値の高い社寺仏閣などの歴史・文化資源を保全・活用し、景観整備をはじめとする魅力の向上・発信と交流を促す空間形成を図り、訪れる多くの人々をもてなす魅力あるまちづくりを進める。 ・コンパクトで歩いて暮らせるまちづくりを目指して、道路、河川・水路等の整備と連携しながら柏原駅前の中山道柏原宿の街道の歩行空間等の充実を図り、安全・快適な歩行者ネットワークを形成する。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
①空家への移住者数	世帯	米原市空家バンクを通じて、当地区に移住された世帯数	地域資源および空家を活用した魅力の向上	13	R1	21	R5
②駅の乗降客数	人/日	柏原駅の乗車人数	駅の利便性向上による駅利用者の維持	274	H30	274	R5
③エリアプラットフォーム参加団体数	団体	当地区におけるエリアプラットフォームへの参加団体数	受入環境整備による持続可能なまちづくりの推進	7	R1	10	R5

整備方針等

様式(1)－③

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【地域資源および空家を活用した魅力の向上】 ・地域資源の情報を発信する案内看板を整備する。 ・空家を活用した地域活性化に対する支援策を講じる。		地域生活基盤施設(情報板) 提案事業(空家活用支援補助金)
【駅の利便性向上による駅利用者の維持】 ・柏原駅前に時間貸し駐車場を整備する。 ・柏原駅前広場を整備する。 ・柏原駅前に緑化施設等を整備する。		地域生活基盤施設(駅前駐車場整備) 地域生活基盤施設(駅前広場整備) 高質空間形成施設(緑化施設等)
【受入環境整備による持続可能なまちづくりの推進】 ・エリアプラットフォームを形成する。 ・エリアプラットフォームによるまちづくり活動への支援策を講じる。		関連事業:民間(官民連携まちなか再生推進事業) 提案事業(柏原宿活性化支援補助金)
その他		
【まちづくりの住民参加】 ・現在、当地区には、やいとまつり実行委員会等の団体により、やいとまつり等の事業が行われており、にぎわい創出に向けて尽力されている。 ・令和元年度に地域住民および民間団体により柏原宿活性化検討委員会が発足し、柏原宿活性化プランを策定されるなど、地域活性化や移住定住促進に向けた取組が実施されている。 また、令和2年度には、官民連携まちなか再生推進事業により、エリアプラットフォームの構築と、未来ビジョンの策定を進めている。 ・米原市地域再生推進法人である一般社団法人古民家再生協会滋賀が、上記委員会の事務局を担う中で、民間主導のまちづくりが進められている。		

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

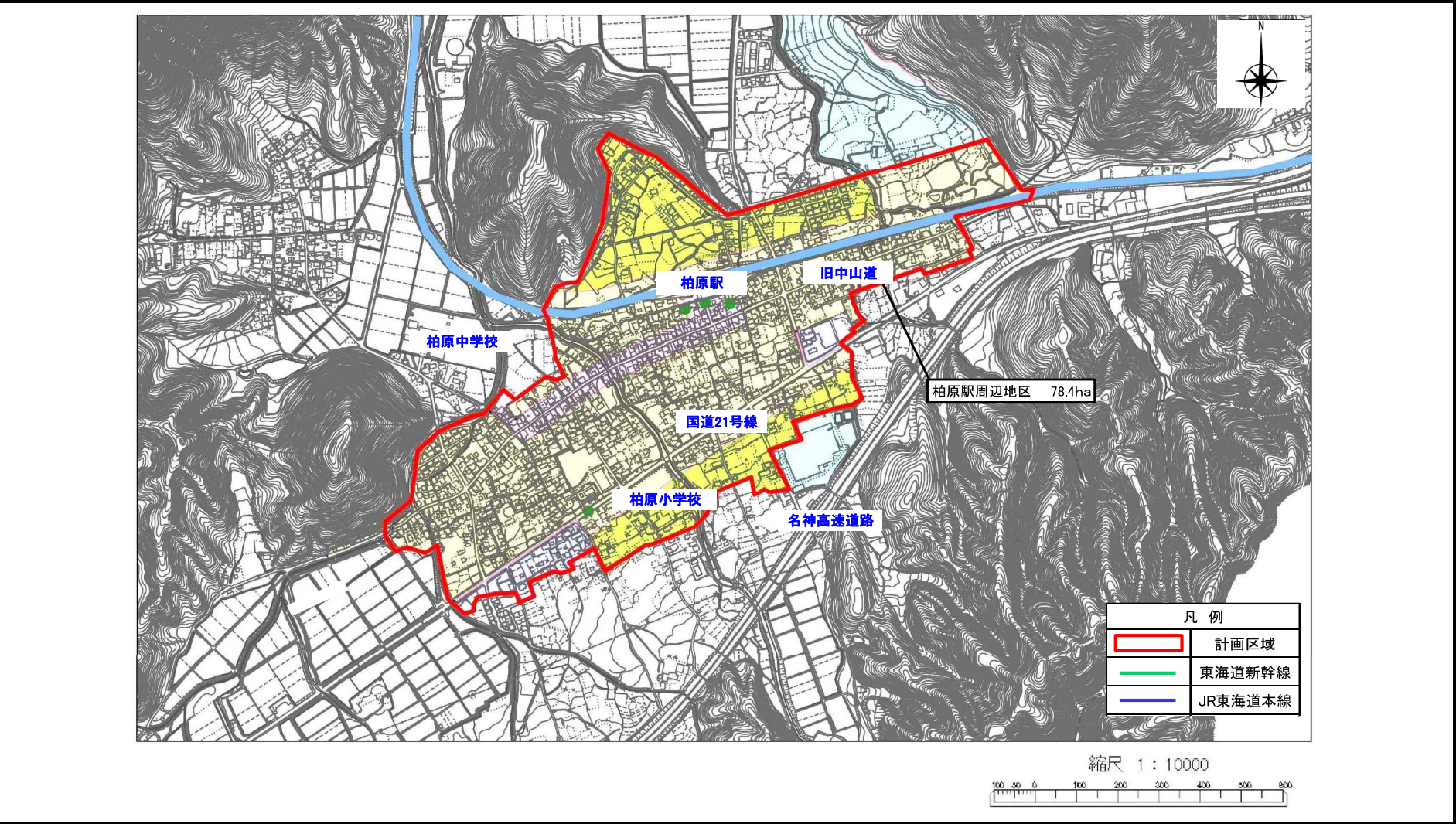
統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	110.4
---------	-------

本事業費

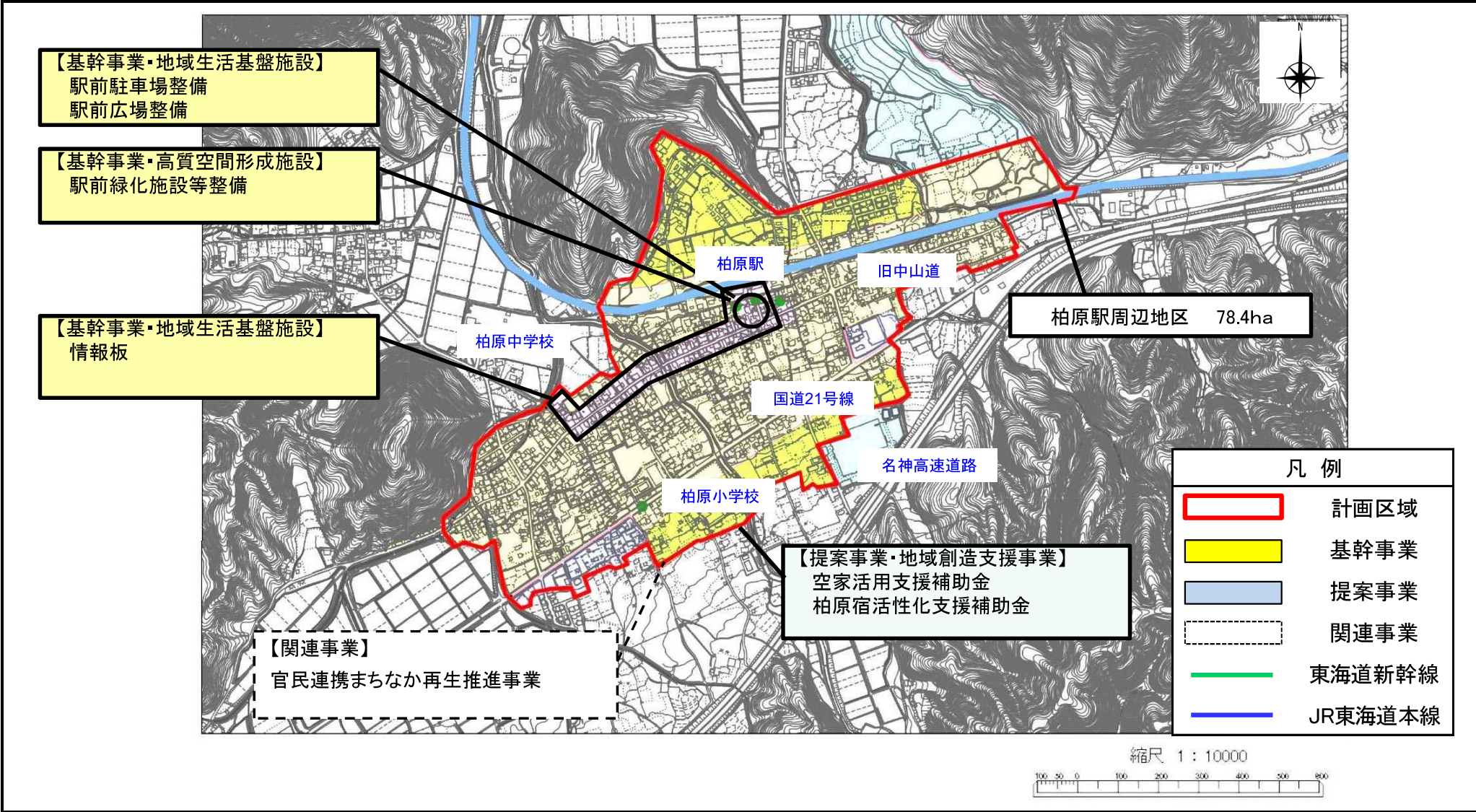
本事業費

柏原駅周辺地区(滋賀県米原市)	面積	78.4 ha	区域	米原市柏原の一部
-----------------	----	---------	----	----------



柏原駅周辺地区(滋賀県米原市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	大目標: 伊吹山の麓で息づく暮らしと街道による交流文化に出会えるまちの創造	代表的な指標	空家への移住者数	(世帯)	13	(R1年度)	→	21	(R5年度)
	目標①: 地域資源および空家を活用した魅力の向上		駅の乗降客数	(人/日)	274	(H30年度)	→	274	(R5年度)
	目標②: 駅の利便性向上による駅利用者の維持		エリアプラットフォーム参加団体数	(団体)	7	(R1年度)	→	10	(R5年度)
	目標③: 受入環境整備による持続可能なまちづくりの推進								



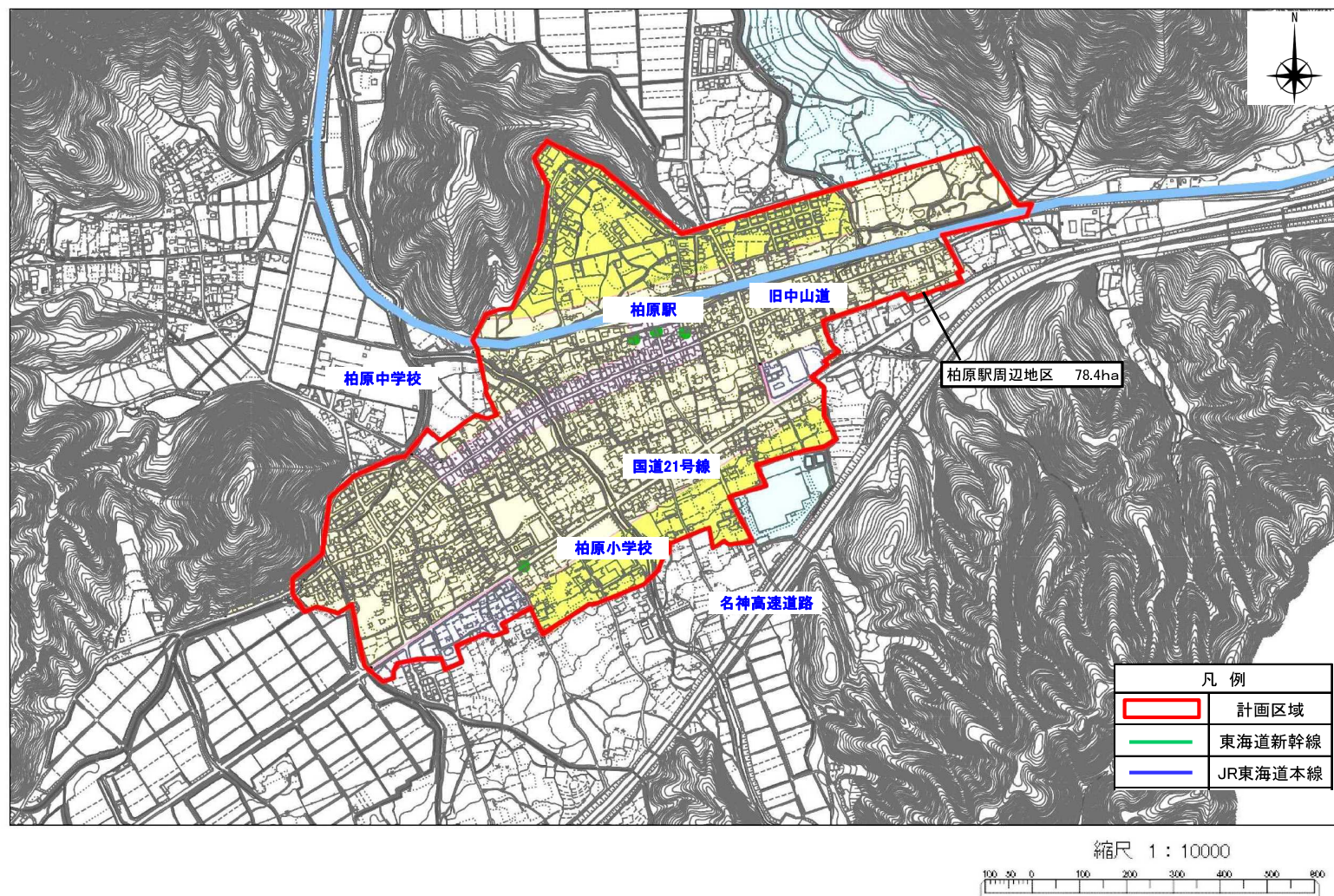
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

かしわばらえき しゅうへん ちく
柏原駅周辺地区

しが けん まいばら し
(滋賀県米原市)

柏原駅周辺地区(滋賀県米原市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

柏原駅周辺地区（滋賀県米原市）

様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	44.1 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	6,687.0 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	44.1 百万円
-----------------------------	----------	-----------------------	-------------	----------------	--------------	----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	313,600 m ²
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	784,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Cl	19,650 円/m ²
-----------	-------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	0
公示価格の平均値(円/m ²)	19,650

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	0 m ²
-----------	------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

○	個別公共施設の積み上げ
----------	-------------

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cn を考慮しない場合の交付限度額(Y1)	6,687 百万円
------------------------------	-----------

ΣCn	0 円
------------	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	784,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

○	地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
----------	---------------------	-----

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	399,650

○	調整池	0 円
----------	-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

○	河川	0 円
----------	----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

○	住宅施設	0 円
----------	------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
○	一般地区	33,700,000 28,640,000

○	市街地再開発事業による施設建築物	0 円
----------	------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

○	電線共同溝等	0 円
----------	--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

○	人工地盤	0 円
----------	------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

○	協議して額を定める大規模構造物等	0 円
----------	------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cn を考慮した場合の交付限度額(Y2)	6,687 百万円
-----------------------------	-----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	44.1 百万円
-----------	----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	98.400	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	44.160	① (国費)
	提案事業合計(B)	12.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	54.667	② (国費)
	合計(A+B)	110.400	(事業費)	上記①、②の小さい方	44.160	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.109		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	44.160	⑥ (国費)
				3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4) 式の適用を受ける 場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率※	0.400	⑧ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値		
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑨÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

交付限度額	44.160	⑫ (国費)
-------	--------	--------

○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	110.4	(事業費)	交付要綱に基づく交付限度額(⑫を1万円の位を切り捨て)	44.1	⑬ (国費)
			国費率	0.399	⑭ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-5-2

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		柏原駅前駐車場整備	米原市	3.3		2.0	1.3		
地域生活基盤施設		柏原駅前広場整備	米原市	43.5	3.5	4.5	35.5		
地域生活基盤施設		柏原駅前・中山道柏原宿情報板整備	米原市	31.5		6.0	25.5		
高質空間形成施設		柏原駅前緑化施設等整備	米原市	20.1		2.3	17.8		
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建築物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				98.4	3.5	14.8	80.1	0.0	0.0
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域創造	空家活用支援補助金	柏原駅周辺	米原市	6.0	2.0	2.0	2.0		
支援事業	柏原宿活性化支援補助金	柏原駅周辺	米原市	6.0	2.0	2.0	2.0		
事業活用									
調査									
まちづくり活動									
推進事業									
計				12.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0
合計				110.4	7.5	18.8	84.1	0.0	0.0
累計進捗率（％）					6.8%	23.8%	100.0%	100.0%	100.0%
(参考)都市構造再編集・支援事業関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合計				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累計進捗率（％）					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
(参考)関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	官民連携まちなか再生推進事業	柏原駅周辺	柏原宿活性化実行委員会	20.0	20.0				
合計				20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累計進捗率（％）					100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

[illegible]

地域生活基盤施設

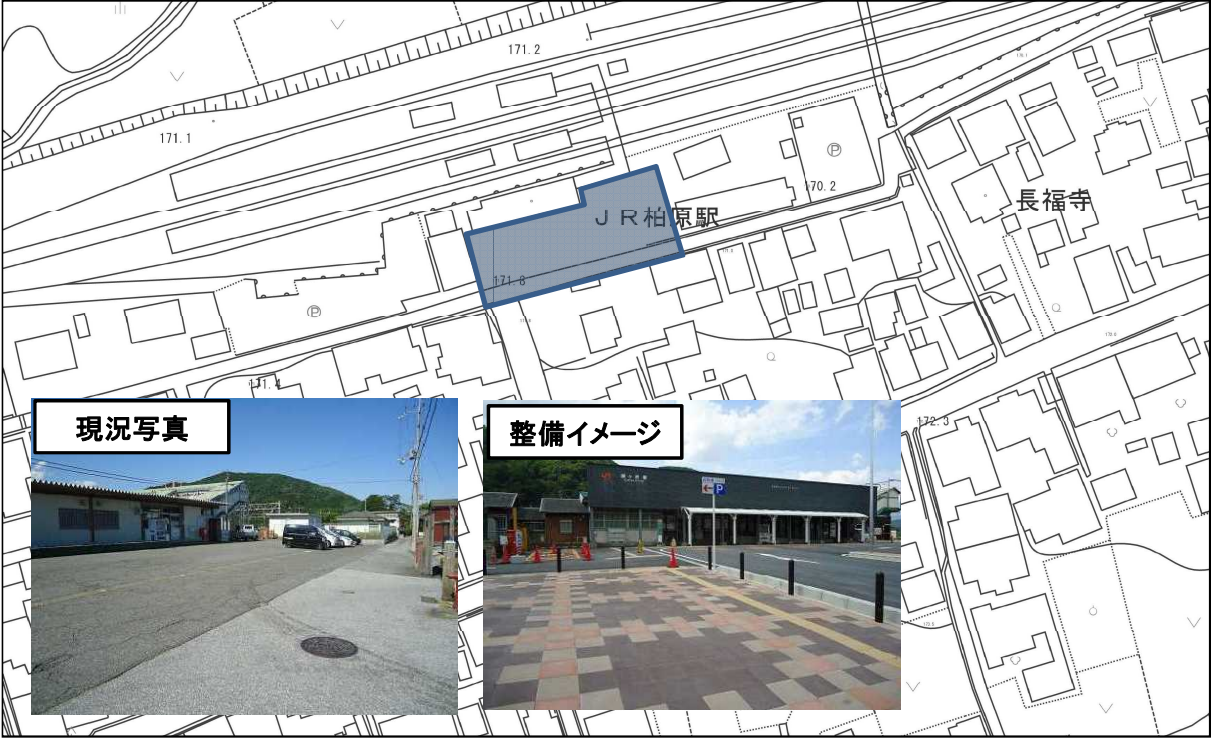
単位:百万円

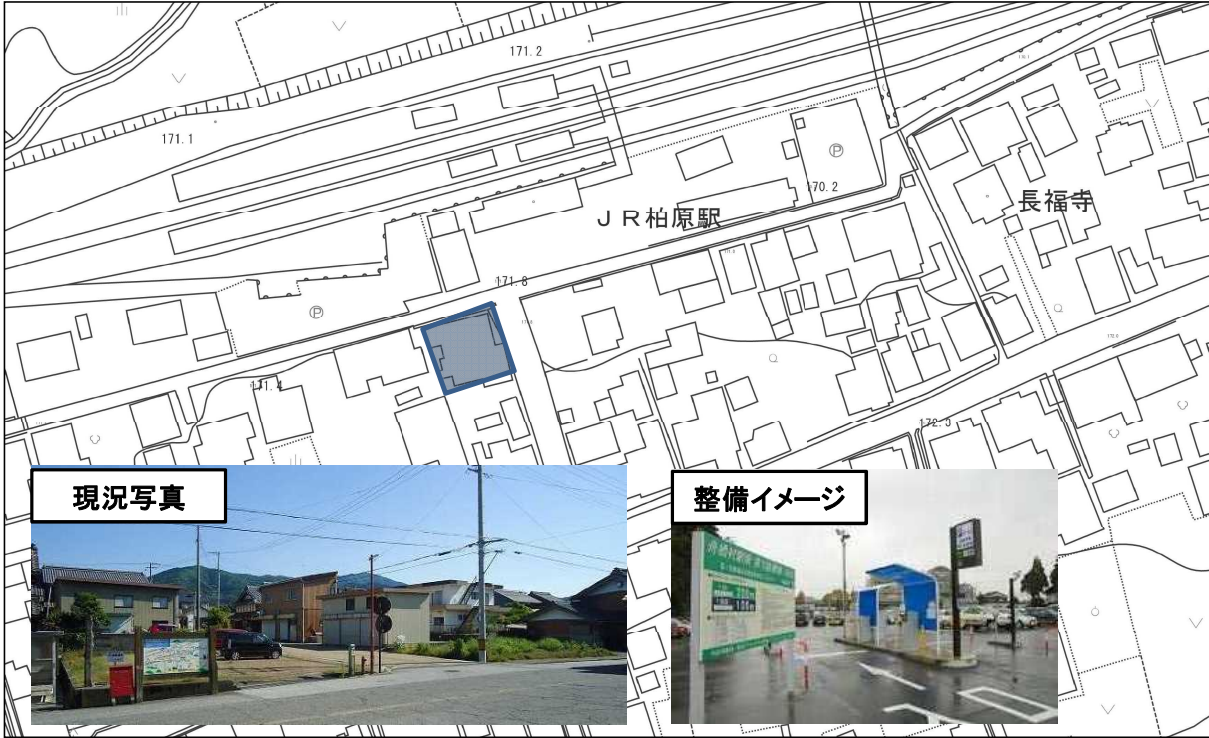
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場	柏原駅前広場	米原市	A=1,000㎡ 広場舗装整備、交通誘導線、誘導案内板、融雪装置、照明、植栽等の設置	43.5	8.0	0.0	35.5	—	
駐車場	柏原駅前駐車場	米原市	A=250㎡ 駐車場舗装整備、精算機、管理用カメラ、照明等の設置 駐車台数約10台	3.3	0.3	1.7	1.3	—	全体整備費14.6百万円
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板	柏原駅前・中山道柏原宿情報板	米原市	大型看板3基、小型看板10基	31.5	9.0	0.0	22.5	—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—	78.3	17.3	1.7	59.3		

高質空間形成施設

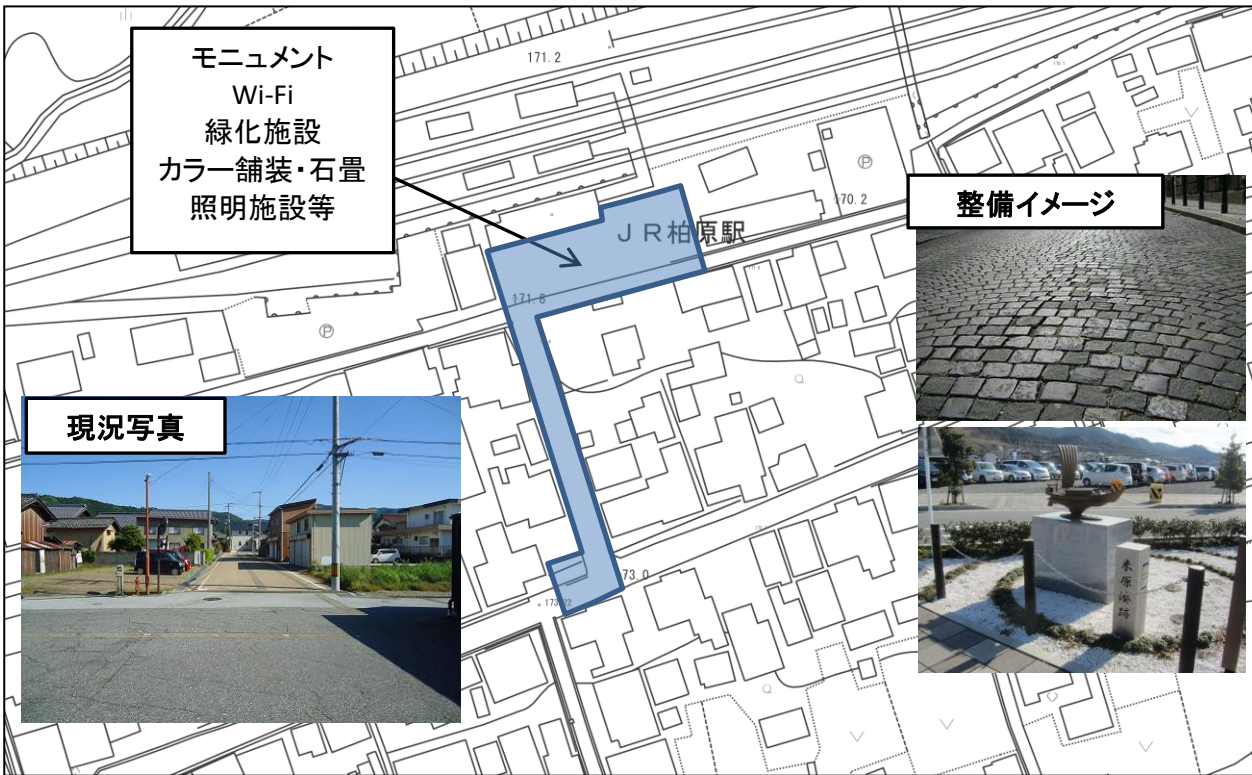
単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	柏原駅前緑化施設等	米原市	A=500㎡ モニュメント、Wi-Fi、緑化施設、カラー舗装・石畳、照明等の設置	20.1	2.3		17.8	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	20.1	2.3	0.0	17.8	

事業	地域生活基盤施設		
施設名	駅前広場		
事業箇所	柏原駅		
概要 (箇所数、規模等)	A=1,000㎡		
イメージ			
事業金額(参考)	項 目	全体事業費(千円)	補助対象事業費(千円)
	工事費	35,500	35,500
	設計費	12,700	8,000
	合計金額	48,200	43,500
	備考		

事業	地域生活基盤施設		
施設名	駅前駐車場		
事業箇所	柏原駅		
概要 (箇所数、規模等)	A=250m ²		
イメージ			
事業金額(参考)	項 目	全体事業費(千円)	補助対象事業費(千円)
	工事費	5,100	1,300
	設計費	1,700	300
	用地費	7,800	1,700
	合計金額	14,600	3,300
	備考	駐車場部分の補助対象経費は1/4	

事業	地域生活基盤施設		
施設名	駅前駐車場		
事業箇所	柏原駅前・中山道柏原宿		
概要 (箇所数、規模等)	大型看板3基、小型看板10基		
イメージ			
事業金額(参考)	項 目	全体事業費(千円)	補助対象事業費(千円)
	工事費	22,500	22,500
	設計費	9,000	9,000
	合計金額	31,500	31,500
	備考		

事業	高質空間形成施設		
施設名	緑化施設等		
事業箇所	柏原駅		
概要 (箇所数、規模等)	A=1,500m ²		
イメージ	 <p>モノメント Wi-Fi 緑化施設 カラー舗装・石畳 照明施設等</p> <p>現況写真</p> <p>整備イメージ</p>		
事業金額(参考)	項 目	全体事業費(千円)	補助対象事業費(千円)
	工事費	17,800	17,800
	設計費	2,300	2,300
	合計金額	20,100	20,100
	備考	モノメント、Wi-Fi、緑化施設、カラー舗装・石畳、照明施設等の整備	

都市再生整備計画事業事前評価シート

計画の名称: 柏原駅周辺地区都市再生整備計画 事業主体名: 米原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○